

## 原木しいたけ栽培技術基礎研修について

### 1 はじめに

岩手県林業技術センターでは、原木しいたけの栽培について、新規に栽培を行う生産者の方や、林業普及指導員、市町村職員等を対象として、基本的な知識・技術を習得するため、年3回の基礎研修を実施しています。

これまで、植菌、仮伏せ、本伏せなどについて2回の研修を行っています。

今回は、3回目として、自伐によるしいたけ原木の確保について、研修を実施したので報告します。

### 2 研修内容

研修は、平成27年11月10日に岩手町内で開催し、以下の4つを研修内容としました。

- ① 放射性物質被害対策として原木入手に必要な留意事項の説明
- ② しいたけ原木生産者を講師とした伐木造材研修（安全確保、選木、伐木造材）
- ③ 参加者による立木伐採、玉切り体験
- ④ ホダ場見学・意見交換

参加者は、計11名（新規生産者4名、生産者1名、林業普及指導員等6名）となり、伐採体験では、岩手町のしいたけ生産者を講師に、伐採前の笹等の刈払いの重要性の説明のほか、立木の重心の捉え方、コナラ立木を割裂させないチェーンソーの刃の入れ方など丁寧な研修が行われました。

また、しいたけ生産者（岩手町）のホダ場見学・意見交換では、栽培技術、生産量、収支、ホダ場更新について、活発な意見交換が行われました。

### 3 今後の予定

今後、しいたけ原木の伐採・植菌時期を迎え、その際のような作業・管理は、子実体収量や放射性物質濃度のコントロールに大きな影響を与えます。

当センターでは、林内の土壌や降雨がホダ木の放射性物質濃度に与える影響、放射性物質低減のための原木きこ栽培管理、加温施設を用いた仮伏せについて、平成28年1月19日に遠野市で研修を予定しています。



写真1 参加者による立木伐採の様子



写真2 ホダ場見学・意見交換の様子